



じゅう どうこうさん
時宗 東岡山

福田寺だより



ホームページ



フェイスブック



インスタグラム

善悪を説かず

【写経会:11月28日 午後2時より】

ご参拝の際は、マスクの着用、ご自身での体調確認のご協力を
お願いいたします



10月1日より始まりました「京都時宗道場御朱印巡り」は想像以上の反響で、専用の御朱印帳(遊行帳)を持って度々お参りの方が来られています。“檀家でも知らないお寺が多かった”、“時宗という宗派を知るきっかけとなった”、“今まで何となく近寄りがたかったお寺にも参拝できた”という喜びの声も多く聞かれ、こちら嬉しい気持ちになります。個人的には広報担当の役割を頂きましたので、より良いものを目指しながら、多くの方々とご縁を結べるように努めたいと思っております。

また、お陰様で9月、10月の写経会にはそれぞれ十数名のご参加がありました。経文は写経で一般的な「般若心経」のほか、時宗でもお読みする『無量寿経』の一節「四誓偈」、短いながらお釈迦様の威徳が説かれた「舍利礼文(舍利経)」を当初ご用意しました。さらに先月は宗祖一遍上人の作である「誓願偈文」も新たに写経の題材としました。

この「誓願偈文」は「発願文」と呼ばれたり、宗派内では冒頭の部分から「我が弟子等」と呼ばれたりします。日用勤行式にも入っており一遍上人のお言葉として最も身近であると思えばせていただきました。「誓願偈文」の誓願とは、神仏に対して誓いや願いを述べたものを言い、弘安9年(1286)、一遍上人が48歳のときに当麻寺(奈良県葛城市当麻)に参詣された折に書かれたといひます。もとは漢文で4字33句(こういつた詩句を偈頌、偈文といひます)から成っていますが、普段の勤行では和文にしてお読みします。

内容は念仏の行者の日頃の心構え、名号「南無阿弥陀仏」に帰依する誓い、阿弥陀様や諸仏諸菩薩からの守護、そして極楽往生への願いです。この中に「善悪を説かず、善悪を行ぜず(不説善悪 不行善悪)」という句があります。日常、私たちは法律や社会のルールなどを基準に善や悪、正しさや過ちを考えます。ただし、この価値観は絶対的なものではありません。時代により善悪の判断は変わりますし、もっと身近なことで言えば“良かれと思ってしたことが迷惑だった”などという話はよくあります。つまり凡夫である私たちの「善悪」の判断は必要ながらも絶対ではないということです。本当の正しさというのは仏様の立場でしか分かりません。ですから一遍上人は「人の行為について必要以上に善悪を説くことなく、自らの行為に必要以上に善悪の基準を持ち込まない」、とおっしゃられたのではないかと私は思います。ともかくに自分自身が凡夫であることを自覚し、念仏をお唱えすることが肝要であり、その時にこそ図らずも私たちが日頃作ってしまう罪障は取り除かれるのです。 合掌



ツワブキ

誓願偈文 宗祖一遍上人	我が弟子等願はくは今身より未來際を尽すまで身命を惜しまず本願に帰入し畢命を期して一向に称名し善悪を説かず善悪を行ぜずかくの如きの行人は本願に依るが故に阿弥陀仏觀音勢至五々の菩薩無數の聖衆六方恒沙証誠諸仏昼夜六時に相統して閑なく影の形に隨ふが如く暫くも離る、時なく慈悲護念したまへ心をして乱れざらしめ横病を受けず横死に遇はず身に苦痛なく心錯乱せず身心安楽にして禪定に入るが如く命断須臾に聖衆來迎したまへ仏の願力に乗じて安楽に往生せむ
右為 写経願主	
年	
月	
日	